令和5年12月22日

令和5年 第12回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

令和5年第12回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 令和5年12月22日（金曜日）午後2時00分～午後3時41分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第1・第2会議室

3. 出席委員 1番 岡田博史（教育長）

2番 岩田圭子

3番 藤宮志津子

4番 内野裕子

5番 鈴木一徳

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

教育部長 小 俣 学

教育部参事兼
教育指導課長
学校施設更新
等担当課長

小 野 隆 一

教育総務課長 斎 藤 謙二郎

中 橋 健

指導担当課長
（統括指導
主 事）

青少年課長

石 川 博 隆

生涯学習課長 岩 野 秀 夫

中央公民館長

伊 藤 智

中央図書館長 浴 靖 子

6. 書 記

庶務係長 長 瀬 由美子

主 事 浅 井 亮 介

○議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 教育長諸務報告
- 第 3 第 29 号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 4 第 30 号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 5 第 31 号報告 学校給食についての答申について
- 第 6 第 45 号議案 東大和市教育委員会事務局職員の任免について
- 第 7 第 46 号議案 押印を求める手続の見直しに伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則
- 第 8 第 47 号議案 東大和市教育委員会後援名義使用承認事務取扱要綱の一部を改正する要綱
- 第 9 第 48 号議案 東大和市立学校職員服務規程の一部を改正する規程
- 第 10 第 49 号議案 東大和市文化財記録映画貸出要綱の一部を改正する要綱
- 第 11 その他報告事項 (1) いじめの重大事態の疑いについて
(2) 令和 6 年東大和市二十歳の成人式の開催について

◎開会の辞

○岡田教育長 では、時間になりましたので、ただいまから令和5年第12回東大和
市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○岡田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、岩田委員をお願いいたします。

○岩田委員 はい、分かりました。

◎日程第2 教育長諸務報告

○岡田教育長 日程第2、教育長諸務報告を行います。

資料をご覧ください。

11月21日、火曜日、東大和市民体育大会ゴルフ競技会開会式に出席をいたしました。また、副校長会に出席をいたしました。そして、中学生の「税についての作文」及び「税の標語」市長賞授与式に出席をいたしました。

11月23日、木曜日、スポーツレクリエーションフェスティバルを観覧いたしました。

11月24日、金曜日、教育委員会定例会に出席をいたしました。

11月30日、木曜日から12月18日、月曜日まで、令和5年第4回東大和各市議会定例会に出席をいたしました。

12月3日、日曜日、第58回東大和市ロードレース大会に出席をいたしました。このロードレース大会は、市民、そのほか小・中学生が出ている大会ですが、参加者の半数が子どもの参加ということで、当日は非常に天気が良くて、マラソン日和といいたいでしょうか、走るには最適な環境であったと思いますが、応援も非常に多くて、たくさんの方がおいでいただいて声援も送っていただきました。学校からは児童・生徒、中学校においては部活動の生徒たちも多く参加し、また学校の先生も参加をされていて、声援の中には何とか先生とか何とか校長先生とかそういう声援も多く聞かれて、非常に盛り上がった大会でございました。子どもたちも非常によいタイムも出ておりました、盛況に終えられたと思っております。

同日12月3日、日曜日、こどもスマイルムーブメント「まちを考え、つくる体験」に出席をいたしました。こちらは、東大和市や、それから東京都、そして企業と連携をいたしまして、未来の東大和市といいたししょうか、まちづくりに関しまして、子どもの発想や体験を通してまちづくりを考えるというイベントでありましたが、自分たちの考えや思いが本当にまちづくりに生きてくるんだというような体験をするものでございました。市役所の中央の玄関の手前にベンチが作製されていて、今置かれています。かなりカラフルなベンチで、それをここに参加した子どもたちが、市内のあらゆるところに市民が腰を下ろして休める場が欲しいという願いを実現するため、ベンチ作りの体験をしながら作製されたものです。6台ほどベンチが置かれておりますので、もしお時間ありましたらご覧いただければと思います。

12月15日、金曜日、東大和市児童・生徒表彰式に出席をいたしました。こちらは教育指導課で担当しておりますが、市内の小学生、中学生で様々な人助けであったり、スポーツの中で優秀な成績を収めたり、あらゆる子どもたちの能力などで素晴らしい成績、また素晴らしい行動を取った子たちを表彰いたしました。子どもたちは表彰されて非常によい顔をしておりました。また次年度以降も広げていきたいと考えております。

同日12月15日、金曜日、東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想（案）市民説明会に出席をいたしました。こちらは、翌日の12月16日の土曜日も同じ市民説明会を行いました。それほど多くの市民の方がいらしたわけではございませんが、幾つかご質問もいただきまして、今後、この基本構想（案）が基本構想となり、これからの設計についてもそのご意見を基にまた考えていきたいと思っております。

12月17日、日曜日、北多摩西部消防少年団火災予防祈願餅つき大会に出席をいたしました。こちらは、東大和市からはたしか17名が消防少年団に参加をしているということでございまして、当日は火災予防祈願ということで餅つきの体験を子どもたちがしておりました。

同日12月17日、日曜日、第24回MOA美術館東大和児童作品展表彰式に出席をいたしました。こちらは、教育委員会賞として、子どもたちの絵画部門のほうを私が表彰させていただきまして。また、この美術作品展には、美術部門だけではなくて書写の部門もございまして、子どもたちの力作がそろっておりました。

教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告につきまして、ご質疑等がございましたらご発言をお願いいたします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第29号報告 事務の臨時代理の承認について

○岡田教育長 日程第3、第29号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

報告の説明をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第29号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、令和5年度東大和市一般会計補正予算（第5号）であります。一般会計補正予算（第5号）は、令和5年第4回市議会定例会に第67号議案として提出され、11月30日に原案どおり可決されておりますが、前回の教育委員会定例会開催時点では、市長との予算の最終調整が終了しておりませんでした。その結果、市議会に提出する前に教育委員会に付すことができず、令和5年11月28日付で事務の臨時代理をさせていただきましたので、今回の教育委員会定例会にてご報告申し上げ、ご承認をお願いするものであります。

それでは、内容についてご説明させていただきます。

お手元の資料の令和5年度東大和市一般会計補正予算書（第5号）（抜粋）の表紙をおめくりいただきますと、上に第2表と書いてあるところがございます。第2表は債務負担行為の補正であります。よろしいでしょうか。

1、追加とありまして、こちらは全部で3項目ございますけれども、その一番下、空調機洗浄委託についてであります。小・中学校の普通教室の空調機の洗浄は令和5年度に行い、また、特別教室等の空調機の洗浄につきましては令和6年度に行いますことから、令和6年度の債務負担行為といたしまして778万円を設定するものであります。

なお、令和5年度分につきましては、後ほど歳出の66ページと68ページのほう

でご説明をいたします。

続きまして、歳出の説明に入ります。

1枚おめくりいただきまして、A4の横になっていますけれども、こちらをご覧ください。

抜粋なものですから、左が25ページ、右が26ページとなっております。そちらの一番下のところ、2款総務費、1項総務管理費、15目諸費、事業番号9福祉関係返還金は133万8,000円の計上であります。内容であります。令和4年度の放課後居場所緊急対策事業補助金の金額の確定に伴いまして補助金の返還が生じたため、補正予算で計上するものであります。

1枚おめくりください。44ページをご覧ください。

3款民生費、2項児童福祉費、6目児童館費、事業番号6きよはら児童館運営費は29万8,000円の増額であります。1の報酬も同額の29万8,000円です。内容であります。職員の育児休業の取得に伴う代替としまして、会計年度任用職員を職員課予算で採用して対応しておりますが、任用条件により勤務できない曜日や時間帯がございますので、そちらを現在在籍しております会計年度任用職員で対応するというようにしたため、その分の必要となる金額を増額するものであります。

続きまして、1枚おめくりください。64ページ、右側のページでございます。

10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、真ん中辺、事業番号2教育事務管理費、1、報酬につきましては3万7,000円の増額です。内容です。令和5年10月1日から東京都の最低賃金に変更されたことに伴いまして、市の会計年度任用職員の賃金が1,080円から1,120円に変更されたため、不足いたします報酬について増額するものであります。この内容につきましては全庁的な対応となりますので、この後にご説明申し上げます各事業の報酬、それから職員手当につきましても同様の理由から増額するものであります。

続きまして、その下、3目教育指導費、事業番号6修学旅行等事業費は79万4,000円の増額となります。内容です。移動教室や修学旅行におけます施設使用料の一部を補助しているものでありまして、コロナ禍により中止をしておりました移動教室等について再開をする学校がありますことから、不足する施設使用料を増額するものであります。

続きまして、その下、事業番号14情報教育推進事業費は345万3,000円の増額で

あります。内容であります。令和6年度以降の特別支援学級の児童・生徒数につきまして、令和5年度と比較して増加が見込まれることから、GIGAスクール構想により1人1台配備をしておりますタブレットの端末の購入費用を増額するものであります。

続きまして、66ページです。1枚おめくりください。よろしいでしょうか。

2項小学校費、1目学校管理費、事業番号1小学校運営費、12の委託料、空調機洗浄委託料は503万4,000円の増額であります。内容であります。先ほど債務負担行為補正のページでお話をさせていただいたところでございますけれども、こちらは歳出の説明になります。内容につきましては、室内機の内部にほこりなど経年の汚れが蓄積をしております。冷房の効率が低下する原因となっておりますので、室内機の分解清掃を行うための増額であります。

その下、事業番号2小学校環境整備事業費、14の工事請負費は、第三小学校職員室空調設備更新工事費は137万5,000円の増額であります。内容であります。第三小学校職員室の空調設備が故障しております。製造から20年以上経過して修繕ができないため、更新費用として増額するものであります。

続きまして、その下、3目特別支援学級費、事業番号1小学校特別支援学級事業費は24万7,000円の減額であります。内容であります。第九小学校に設置をしております特別支援学級数が当初の見込みより増となったことに伴いまして、児童の介助に当たる会計年度任用職員を学級数に応じて配置したところであります。週20時間に満たない方を任用したことから、共済費、職員手当等が不要になり減額するものであります。

その下、4目学校保健衛生費、事業番号1小学校健康管理事業費、12の委託料は102万6,000円の増額であります。内容であります。平成29年10月1日以降につきましては、水銀を使用した製品は産業廃棄物として処理をしなければならないということになっております。関東ではその処理を行える事業者が今年度で取扱いを終了するということになりました。そのため小学校にあります水銀を使用した体温計などにつきまして、ここで全て廃棄をするため必要な金額を計上したものでございます。水銀を使用した体温計等につきましては、水銀体温計、水銀温度計、水銀血圧計などがございます。

1枚おめくりください。続きまして、68ページになります。

3項中学校費、1目学校管理費、事業番号1中学校運営費の12の委託料は380

万5,000円の増額であります。2つありまして、1つ目の学校緑化整備委託料増額につきましては155万2,000円でございます。内容であります。第四中学校の体育館付近の樹木が高木化しておりまして、伐採をする必要があるため増額するものであります。その下の空調機洗浄委託料225万3,000円は、先ほどご説明をいたしました空調の洗浄、そちらは小学校費と同様の内容でございます。

その下、4目学校保健衛生費、事業番号1中学校健康管理事業費、12の委託料は49万3,000円の増額であります。こちらにつきましては、先ほどの水銀を使用した体温計等につきまして、廃棄をするための予算を計上したものであります。

その下、4項の社会教育費、2目公民館費、事業番号1中央公民館事業費は3万4,000円の増額であります。内容であります。会計年度任用職員の標準報酬月額が上がったことに伴いまして、会計年度任用職員の社会保険料を増額するものであります。

1枚おめくりください。70ページをご覧ください。

事業番号2南街公民館事業費は8万6,000円の増額であります。内容であります。会計年度任用職員の時間給の増加分を計上するもの、また南街公民館2階の202号室に常設をしておりますスクリーンが故障をしておりまして、新たに床置き式のプロジェクタースクリーンを購入する費用を計上するものであります。

その下、事業番号4蔵敷公民館事業費は6,000円の増額であります。内容につきましては、会計年度任用職員の時間給の増加分の計上であります。

その下、事業番号6上北台公民館事業費は6万2,000円の増額であります。こちらと同様の内容でございます。

その下、3目図書館費、事業番号1中央図書館管理費は86万2,000円の増額であります。内容であります。施設修繕料の増額であります。中央図書館の正面の自動ドア装置、正面出入口の視覚障害者用のタイル、1階のバーチカルブラインド、レファレンス室のロールスクリーン、これらをそれぞれ交換等の修繕を行うものであります。

その下、4目郷土博物館費、事業番号1郷土博物館管理費は123万2,000円の増額であります。内容であります。会計年度任用職員の時間給の増加に伴う期末手当分として6万6,000円、また博物館の収蔵庫の空調設備が経年劣化により機能が低下しておりまして、絵画等の収蔵品保全用のため、湿気を取る調湿保存剤を購入する消耗品費として116万6,000円、それぞれ増額するものであります。

続きまして、72ページをご覧ください。

5 項保健体育費、1 目保健体育総務費、事業番号 3 スポーツ振興事業費は83万4,000円の増額であります。内容でありますが、多摩湖駅伝大会の実施に向けまして、ランニングコースの路面標示の修繕料として37万円、また大会負担金の不足分として46万4,000円、それぞれ増額するものであります。

その下、2 目体育施設費、事業番号 1 体育施設運営費は472万6,000円の増額であります。内容でありますが、10 節需用費58万6,000円につきましては、上仲原公園野球場の外野のフェールラインの修繕料であります。

また、11 節役務費 3 万5,000円は、学校施設開放におけます新規登録団体の増加に伴い必要となる許可証送付の郵送料の計上であります。

また、17 節備品購入費410万5,000円は、令和 6 年度に開催をされます市町村総合体育大会におきまして、卓球大会とバレーボール大会が当市の市民体育館で開催されることになりました。そのため卓球台やバレーボールの支柱など必要となる備品の購入費を計上するものであります。

最後になりますが、74ページをご覧ください。

3 目学校給食費、事業番号 2 学校給食センター運営費は14万1,000円の増額であります。内容でありますが、会計年度任用職員の賃金の変更に伴いまして、1 の報酬13万6,000円と 3 の職員手当等5,000円を増額するものであります。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がございましたら、ご発言をお願いいたします。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 水銀のことは、よく分かりました。市議会定例会一般質問で多摩地域の有機フッ素化合物 P F A S について質問されていますけれども、こちらについては調査などは行うのですか。

○岡田教育長 斎藤教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 今回の補正とは異なりますが、一般質問で出ているいわゆる水道水、P F A S の関係でございますけれども、環境部署と、学校で使われている水について調整していますが、特に市内では人体に影響はないということでありますので、今回の補正にもそれは上げてはございません。

以上でございます。

○藤宮委員 はい、分かりました。

○岡田教育長 ほかにはいかがですか。たくさんありましたけれども、よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第29号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第4 第30号報告 事務の臨時代理の承認について

○岡田教育長 日程第4、第30号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

報告の説明をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第30号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、令和5年度東大和市一般会計補正予算(第6号)であります。一般会計補正予算(第6号)は、令和5年第4回市議会定例会に第75号議案として提出され、12月18日に原案どおり可決をされておりますが、前回の教育委員会定例会開催時点では、市長との予算の最終調整が終了しておりませんでした。その結果、市議会に提出する前に教育委員会に付すことができず、令和5年12月13日付で事務の臨時代理をさせていただきましたので、今回の教育委員会定例会にてご報告申し上げ、ご承認をお願いするものであります。

それでは、内容についてご説明申し上げます。

資料は令和5年度東大和市一般会計補正予算書(第6号)(抜粋)とあります。そちらの資料を1枚おめくりいただきますと4ページが出てきますが、4ページは後にしてもう1枚おめくりいただいて、先に22ページをご覧ください。

10款教育費、5項保健体育費、3目学校給食費、事業番号4物価高騰対応重点支援事業費は5,716万2,000円の増額であります。内容であります、学校給食食

材料費が高騰したことから、令和4年度に引き続き令和5年度におきましても学校給食食材料費高騰対応助成金を計上し対応しているところですが、食材料の価格高騰が続いておりますことから、令和6年度分の学校給食食材料費高騰対応助成金を計上するものであります。

なお、今回の助成金につきましても、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のうち、物価高騰による小中学生の保護者の負担を軽減するための小中学校等における学校給食費等の支援として行う事業メニューというものがございまして、それを活用しますと児童・生徒の給食食材料費のみに充てることができるということになっております。このことから教職員、調理配膳業務委託事業者、給食配送事業者、給食センターの職員等につきましては、児童・生徒の給食食材料費の額に合わせるために、給食費のほかに調整金として追加徴収が必要となる見込みであります。

続きまして、4ページにお戻りいただいて、第2表の繰越明許費補正の表をご覧ください。

こちらは3つありますけれども、一番下、10款教育費、5項保健体育費、事業名として物価高騰対応重点支援事業につきましても5,716万2,000円を繰越しするものであります。

給食費の助成金につきましては、令和6年度に助成金として使うために、令和6年度に繰り越すということでございます。

また、補足として申し上げますが、こちらの5,716万2,000円につきましては、例えば小学校の低学年の場合1食210円ですが国の交付金を40円充てて250円の給食を今子どもたちは食べています。この後に給食センター運営委員会の答申の説明がありますけれども、低学年の子どもたちはこの答申を受けて全員250円に改定されて、改定して増える金額40円に対しては繰越金の5,716万2,000円を全部充てます。それにより、令和6年度も保護者の負担は変わりません。やはり保護者の負担を増やさないでいくことが、市としましても、運営委員会の皆さまも、一番それを望んでおります。子どもたちは今の給食をととても喜んでくれていて、給食の栄養価についても、栄養士が一生懸命考えて子どもたちが喜んでくれる給食を作っているわけですから、今の給食を維持してもらいたいです。この補正予算が通ったことによって保護者の負担は増えないということ、保護者の皆さまにこれからPRしていきます。この次の答申もPRしていきますけれども、ご理解

いただいて、国の交付金が充てられることになりましたので、給食費は増えませんがということも併せてPRしていきたいと思っていますところでございます。そのような動きで今のところ進んでおりまして、補足として申し上げさせていただきます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**岡田教育長** いかがでしょうか。内容はお分かりになりましたでしょうか。基本的には、令和5年度と保護者が負担する額というのは変わらないということです。また、給食費の改定については、この後ご説明させていただきますけれども、学校給食センター運営委員会のほうから答申をいただき、今後、教育委員会の中でまた審議をして最終的に決定をしていくということになるかと思えます。いずれにしても来年度は国からの交付金が頂けるということで、物価高騰分の費用については保護者の負担はなく、子どもたちは給食を食べることができるということでございます。

藤宮委員、お願いします。

○**藤宮委員** 自治体によっては、給食費無償化というところがありますけれども、東大和市はどうでしょうか。

○**岡田教育長** 斎藤教育総務課長。

○**斎藤教育総務課長** 給食費の無償化についてですけれども、まず区部のほうでは給食費の無償化は結構数多く、ほとんどの区で実施しているわけですが、区部と多摩地区の市部との財政状況を比較するものとして、経常収支比率というのがございます。この数字が低ければ低いほど経常経費が少ないので、その分様々な事業を考えることができると言われていたものです。その経常収支比率が十数ポイント市部の方が高い状況でありまして、事業として何かをするというのがやはり区部よりは融通が利かないという状況になっています。

また、この給食費の助成金を組んでいることによりまして、年間3億7,000万円から8,000万円くらいの金額が必要でございますので、給食費を無償化するとしますと、やはり安定して毎年3億円を確保しなければならなくなり、困難というよりは正直申し上げますと無理であろうという状況でございます。

また、メディアの情報だけですけれども、東京都で半額無償化ということを検討しているようですが、正式な通知、あるいは情報の文書というものが一切市のほうにもまだ来ておりません。ただ、仮に半額無償化があったとしても、市での

負担額は今の3億7,000万円から8,000万円という金額の半額、およそ1億9千万円という金額を確保するというはやはりできる状況ではございませんので、今のところ当市の場合は、一部補助という形でございます。

以上でございます。

○岡田教育長 小俣教育部長。

○小俣教育部長 東京都の半額無償化については、無償化するなら半額を補助しますという内容ですが、市が一旦全額出さなければならぬので、その最初の負担が非常に耐え難い状況です。

これはやはり国が進めるべきものと、私どもも思っていますし、議会でも国が進めるべきということを行っている状況です。国の動きがまだ分かりませんが、国や東京都の制度設計が固まりましたら当然無償化に向けて動いていきたいと思っておりますので、無償化に向けてはアンテナを高くして動向を注視していきたいと思っております。

以上でございます。

○岡田教育長 ほかにご質問いかがでしょうか。

藤宮委員。

○藤宮委員 4ページの第2表の繰越明許費の明許とはどのような意味ですか。

○岡田教育長 斎藤教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 繰越明許費の明許という言葉の意味でございますが、すみません、詳細な日本語の解説というのは私自身も調べたことはないですけれども、繰越しすることを明らかにして、それを許可することによってございます。具体的には、予算編成はしましたけれども、来年度に繰り越す分の予算があり、それを議会で明らかにして、議会の承認をいただくというものであると、地方財政関係の言葉であると認識してございます。この表で表しておりますのは、繰越金について議会の承認を受けることから、繰越明許費という表現になっております。

以上でございます。

○岡田教育長 よろしいですか。基本的に令和5年度の収入を令和6年度に繰り越して使うために承認を得たいということでしょうか。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第30号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第5 第31号報告 学校給食についての答申について

○岡田教育長 日程第5、第31号報告 学校給食についての答申について、本件を議題に供します。

報告の説明をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第31号報告 学校給食についての答申についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

令和5年9月27日に東大和市教育委員会から東大和市学校給食センター運営委員会に諮問をいたしました「学校給食について」につきまして、令和5年12月19日付で同運営委員会から答申が出されましたことから、報告をさせていただくものであります。

それでは、お手元の資料の学校給食について（答申）をご覧ください。

1、学校給食について。

(1) 学校給食の内容について。今後の学校給食の内容について検討した結果、子どもたちが楽しみな給食になっている、栄養価の確保が必要であるという意見から、現在の学校給食内容の水準を確保することが適当であると考えます。

(2) 学校給食費の改定について。現在の学校給食内容の水準を確保するためには、助成金相当額の改定が必要である。なお、日額と月額をより適切なものとするため、学校給食費を次のとおり改定することが適当であると考えます。改定金額については、表のとおりとなっております。

2、付帯意見。

(1) 学校給食について、保護者に伝わりやすくなるように、様々な媒体を活用して、分かりやすく丁寧な周知を行うことを望みます。

3、その他。

(1) 検討経過。9月27日、第1回運営委員会。10月24日、11月21日、12月8

日、第1回から第3回専門部会でご審議をいただきました。そして12月19日に第2回学校給食センター運営委員会を経て、今回の答申をしていただきました。

以上でございますが、この答申の内容につきましては、今後、保護者の皆さまに周知をいたしまして、保護者の皆さまからご意見を募集し、令和6年第1回の教育委員会の定例会におきまして、学校給食費の改定につきましてご審議をいただくことを予定してございます。

説明につきましては、以上でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がございましたら、ご発言をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 補足でございます。真ん中の表をご覧くださいまして、先ほども申し上げましたけれども、小学生の1年生と2年生の現在の給食費の1食210円に、改定額は40円とすると、改定後の給食費は250円になるものであります。先ほどの無償化がこの先実現したときには、この250円が無償化されるということになります。もし今のままの210円が無償化となると、今の給食を維持するための残りの40円分は、保護者に負担をしていただかないとなくなるという懸念がありますので、国や東京都の無償化の制度設計が進む前に改定はする必要があるかということで動いてまいりました。今回の改定に向けては、給食センターや運営委員会の皆さまにも説明を丁寧にさせていただきまして、ご理解いただくことができたというところでございます。

委員の方からは、保護者にきちんと丁寧に説明をすれば理解していただけるはずというふうに力強く言っていただいておりますので、私どももそちらを踏まえて今後進めていきたいと思っております。

補足は以上でございます。ありがとうございました。

○岡田教育長 いかがでしょうか。ご質疑ございましたらお願いします。

斎藤教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 私からも2点補足をさせていただければと思います。

今般、先ほどの第6号補正で給食費の助成金を計上して議会でご審議いただいた際に、議員からご質疑をいただきまして、その内容がこの給食費の改定に関する部分について、助成金が組めるのであれば給食費を改定する必要はないのかというご質疑がございました。その点につきまして、給食費というものは、

学校給食法の中では原則として保護者負担とするとしていて、食材料費がそれになります。今使っている食材料費は、先ほど部長からもご説明がございましたとおり、210円に40円足したものの、250円を改めて給食費として定めて、それに対して40円の補助をする形が望ましいものであるという答弁をさせていただきました。また、12月19日の給食センター運営委員会において、議員からはこちらの答申書を決める前にそのことを話すべきであるというご意見がございましたので、ご意見のとおり19日の給食センター運営委員会では、まず補正予算が確保できたことをご説明しました。答申書については次の議会で諮りましてこちらの答申書でよいということになっております。それが1点目でございます。

2点目は、こちらの答申書の(2)学校給食費の改定についてでございます。文章中に、日額と月額をより適切なものとするためとございますが、こちらの意味は、表の中の中学生の現行の給食費272円を例にしてご説明いたしますと、実は現行運用方法として、1円単位は切捨てという形で運用しておりまして、保護者の方や非常勤の講師の場合、例えば中学生の保護者の方が見学試食会をすると、1食272円ではなくて270円の1円単位を切り捨てた給食費を頂いておりますけれども、1年間通して食べているお子さんたちは、272円掛ける日数で最後に1円単位を切捨てしているという形になりますので、細かいお話ですけれども不公平というか、実際毎日同じ金額がかかっているわけではありませんけれども、定めとしておかしいということもありまして、今回、改定後の給食費のところはちょうど10円単位の金額に改定されております。

以上でございます。

○岡田教育長 補足の説明が終わりました。

ご質疑ございますでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 学校給食の費用についての説明を詳しく聞きまして、私もそういうことかと初めて聞くこともたくさんありましたので、いろいろなことが分かりましたけれども、この付帯意見にもありますように、本当に保護者の皆さまに理解していただくように丁寧な説明をぜひお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○小俣教育部長 ありがとうございます。

○岡田教育長 斎藤教育総務課長。

○齋藤教育総務課長 ただいまご意見をいただきましたとおり、実は既に1回保護者の皆さまに学校を通じて情報提供をさせていただきまして、そちらの資料につきましても、専門部会の委員や学校長、保護者会の会長など皆さまからご意見をいただき、分かりやすい資料という部分でいろいろなご指摘をいただきまして、1回目の資料は分かりやすいものができた状況でございます。先ほど部長からご説明ございましたとおり、今後はこの答申案についてまたご説明をする予定ですので、そこも同様に学校や保護者の方の意見を聞きながら、より分かりやすい情報提供をしていくように努めてまいりたいと思います。

○岩田委員 よろしく願いいたします。

○岡田教育長 ほかにはいかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第31号報告 学校給食についての答申について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第6 第45号議案 東大和市教育委員会事務局職員の任免について

○岡田教育長 日程第6、第45号議案 東大和市教育委員会事務局職員の任免については、人事案件であることから会議を非公開としたいと思いますが、これに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 賛成者は全員となります。よって、会議は非公開といたします。

さらに、本案の会議録及び会議資料の取扱いにつきましてお諮りいたします。本案の会議録及び会議資料につきましても非公開としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、そのように取扱いいたします。

ここで関係者以外の退場を求めます。

(一部執行部退場)

(この間非公開)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

ここで会議の非公開を解きます。退場者の入場を認めます。

(一部執行部入場)

◎日程第7 第46号議案 押印を求める手続の見直しに伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則

○岡田教育長 日程第7、第46号議案 押印を求める手続の見直しに伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第46号議案 押印を求める手続の見直しに伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則につきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、押印を求める手続の見直しに伴いまして、関連する6件の規則を一括して一部改正するものであります。

それでは、議案資料をご覧ください。

議案資料であります。前半12枚が規則の改正文、後半23枚が改正前の様式となっております。後半の23枚の改正前の様式には、ページが振ってありますので、後ほどページを使ってご説明をさせていただきます。その際は、網がけのところは今回改正を行う箇所となりますので、ご覧いただきたいページ数をお伝えしながら網がけ部分のご説明をさせていただきますので、あらかじめご承知おきください。基本的には、判こを押す申請書でしたが、その判この部分が全部不要になるため削除するという内容になりますから、最初にそれを申し上げておきます。

それでは、1枚おめくりいただいて、1件目の東大和市立学校職員の職務に専念する義務の免除に関する事務取扱規則につきましては、まず13枚おめくりいた

だきますと、A4の横になっておりまして1とページが振ってあるところがあります。よろしいですか。ご覧ください。

左上に第1号様式と書いてありますけれども、こちらが改正前の様式になります。ここでは、第1号様式中に判こを押す「職員印」というところを「職員」に、左側の上のほうに薄く網がけがありますけれども、こちらの印を削除するというものです。同様に右側の「学校長印」を「学校長」に、また「副校長印」を「副校長」に改めるものであります。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、改正前の第2号様式です。まずこちら第2号様式中、同様に「職員印」を「職員」に、また「取扱者等認印」を「取扱者等」に改めるものであります。

続きまして、3ページも同様であります。一番上の「職員印」と「取扱者等認印」に網がけがされておりますけれども、同様に印を両方とも取りまして、改めるものであります。

次に、先ほど6件あると言いましたけれども、次は2件目になります。東大和市文化財保護条例施行規則につきましては、4ページから18ページ、こちらの書類につきましても同様に「㊟」を削るものであります。

次に、3件目になります。東大和市立学校の通学区域等に関する規則につきましては、改正文をご覧ください。改正文は少し前に戻り、第46号の議案書の次のページに、第1条、第2条、第3条とありますけれども、こちらの第3条になります。こちらについては、1枚おめくりいただきまして、就学通知書と書いてあるところをご覧ください。改正前のときは、今ご覧になられている様式の一番下のところに決裁欄がありました。いずれも「教育長」、「部長」、「課長」、「係長」、「担当」というそれぞれが判こを押すための枠がありましたが、そちらを削除するものであります。

また、次のページは第3号様式の関係ですけれども、さらに1枚おめくりいただくと第3号様式（第5条関係）、指定学校変更申立書という書類がありまして、こちらについても改正前につきましては一番下のところに決裁欄がありましたが、そちらを削除するものであります。

続きまして、1枚おめくりいただきますと、第7号様式の改めになりますけれども、さらに1枚おめくりいただくと区域外就学願という書類が出てきます。この第7号様式（第6条関係）と書いてあるところにも決裁欄がありましたが、そ

ちらを削除するものであります。

次に、1枚おめくりいただきまして、4件目になります。東大和市立小中学校施設使用条例施行規則の一部改正です。こちらについてもさらに1枚おめくりいただくと登録申請書という上半分、下半分を出していただける形式の第1号様式がありますが、一番下のところに「年月日 決裁日」という、いつこちらを教育委員会の中で決定したのか日付を記入する欄がありました。また、課長、係長、担当が判こを押す欄もありましたが、それらを削除するものであります。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、第4号様式から第5号様式の2までの改めになります。さらにページをおめくりいただくと、第4号様式、第5号様式、第5号様式の2、これらにつきましても課長、係長、担当が判こを押す欄もありましたが、そちらを削除するものであります。

次に、1枚おめくりいただきまして、5件目になります。東大和市体育施設等に関する条例施行規則につきましても、改正前の様式19ページをご覧ください。第16号様式になりますが、網がけしてあるとおりでございます。ここの「㊟」と網がけしてあるところを削るものであります。

次に、6件目になります。東大和市立郷土博物館条例施行規則につきましても、次の20ページから23ページをご覧ください。第4号様式、第6号様式、第8号様式及び第12号様式になります。こちらも同様に網がけしてある部分の「㊟」を削るものであります。

最後に、改正文の最後のページにお戻りください。1ページとありましたが、その1ページ目を1枚戻っていただきまして改正文の最後のページになります。そのページをご覧くださいと、附則というところがあります。通しのページが書いてあればよかったですのですが、申し訳ありません。附則の説明をさせていただきます。

附則の1につきましても、この規則の施行日を公布の日からとするものであります。

附則の2につきましても、改正前の様式による用紙で、現に残存するものにつきましても、所要の修正を加え、なお使用することができるものとなります。

説明は以上でございます。どうぞご審議のほどよろしく申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がございましたら、ご発言をお願いいたします。

藤宮委員。

○藤宮委員 附則の2についてですが、改正前の様式に修正を加えたら使用できるとするとありますけれども、どのように修正をするのですか。

○岡田教育長 斎藤教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 現在改正前の様式で既に刷ってある用紙の中には複写用紙もございます。そういった用紙の決裁欄につきましては、別の決裁の紙をつけることになっておりまして、その改正前の用紙自体にある修正部分につきましては、二重線で見え消しをいたします。修正液というのは、公文書の中では使うことはできませんので全て二重線で見え消し、または載っていても構いませんという状態ではございますので、そこは消しても消さなくても大丈夫なものと考えてございます。

以上でございます。

○岡田教育長 鈴木委員。

○鈴木委員 決裁印や申請者の印をなくすことは分かりますが、校長、副校長と書いてあるところは、印ではなくて例えばサインなのかチェックなのか、どのような形になるのでしょうか。そこのところを質問したいと思います。

○岡田教育長 斎藤教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 申請者の印につきましては、ただいま委員からご質疑いただきましたとおり、必要、必要ないというのを、実は令和4年からずっと検討してきました。最終的に今年、文書を担当している課が全部精査をして、これが必要、これは必要でないというところを精査した結果、今回まとめてかけさせていただいているものになります。鈴木委員からご質疑いただきましたこちらの内部のほうの決裁につきましては、外につける類いのものもございまして、就学援助関係の書類は、別の紙をつけてそこで決裁をもらうということになります。例えば指定学校の変更をするときには相手方の教育委員会にもその紙を送るのですが、そのときに内部の決裁があったりすると、やはり混同するおそれなどございますので、今回、印をなくしてしまうということでございます。学校長や副校長はどのような形になるのかは、教育指導課でお願いできればと思います。

○岡田教育長 小野教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 印を押さなくてもよいということであるので、

サインでも構いませんし、また今までと同じように印も押してもよいということなので、そこはこれからの運用になっていくのかと思います。

○岡田教育長 鈴木委員がおっしゃっている校長、副校長のところはどのような形になるのかという質問については、都の職員の、いわゆる先生の休暇・職免等処理簿で説明しますと、通常これまでは申請者のところに印を押して、副校長が承認すれば副校長のところにも印を押して、その両方の印が押されていることによって、正式に年休などの休暇を取ることができるということでしたが、現在は、この職員の印のところは斜め線が引かれていて、申請者の印が押されていないものが既に運用されていることがございます。承認の印を押しているものもあり、現状は混在しているような状況ですけれども、そこは印に限らずにサインであったり印であったりというような認識でしょうか。校長の休暇・職免等処理簿については、承認権者が教育長になっているというところがあって、申請者の校長の印はないけれども、承認は教育長が承認をするので、教育長自身は印を押す、もしくはサインなどの形になろうかというふうに思います。

○鈴木委員 分かりました。ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 先ほど事前に説明したように、印ではなくそこが省略というような形になるということが大まかな話だとは思われます。

では、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第46号議案 押印を求める手続の見直しに伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第8 第47号議案 東大和市教育委員会後援名義使用承認事務取扱要綱の一部を改正する要綱

○岡田教育長 日程第8、第47号議案 東大和市教育委員会後援名義使用承認事務取扱要綱の一部を改正する要綱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第47号議案 東大和市教育委員会後援名義使用承認事務取扱要綱の一部を改正する要綱につきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、押印を求める手続の見直しによりまして、後援名義使用申請手続及び後援名義使用事業実績報告において押印を求めないこととなりましたことから、様式を定めた要綱につきまして改正を行うものであります。

それでは、議案資料をご覧ください。

東大和市教育委員会後援名義使用承認事務取扱要綱一部を改正する要綱の本文であります。 「第1号様式及び第4号様式中「㊟」を削る。」とするものであります。改正前の各様式では、それぞれ「申請者氏名」と「報告者氏名」の右に「㊟」が記載されており、そこに押印を求めておりました。

その下、附則の1につきましては、この要綱の施行日を規定するものであります。施行日は、教育委員会でご承認をいただきました後、改正するための起案を行い、教育長決裁をいただいた日となります。

附則の2につきましては、改正前の様式による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができるものとしてあります。

1枚おめくりいただくと、その第1号様式と、さらにもう1枚おめくりいただくと第4号様式がついております。今はもう㊟がありませんけれども、これが改正後の㊟のない申請書ということでご覧いただくことができます。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がございましたら、ご発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第47号議案 東大和市教育委員会後援名義使用承認事務取扱要綱の一部を改正する要綱について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第9 第48号議案 東大和市立学校職員服務規程の一部を改正する規程

○岡田教育長 日程第9、第48号議案 東大和市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小野教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 ただいま議題となりました第48号議案 東大和市立学校職員服務規程の一部を改正する規程につきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、押印を求める手続の見直しにより、職員証紛失・破損等届及び事務引継書への押印を求めないこととなりましたことから、様式を定めた規程につきまして改正を行うものであります。

それでは、議案資料をご覧ください。

東大和市立学校職員服務規程の一部を改正する規程の本文であります、「第3号様式及び第4号様式中「㊟」を削る。」とするものであります。改正前の各様式では、それぞれ「氏名」の右に「㊟」が記載されており、そこに押印を求めておりました。

その下、附則の1につきましては、この規則の施行日を公布の日からとするものであります。

附則の2につきましては、改正前の様式による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができるとするものであります。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がございましたら、ご発言をお願いいたします。

こちらもよろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第48号議案 東大和市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決します。

◎日程第10 第49号議案 東大和市文化財記録映画貸出要綱の一部を改正する要綱

○岡田教育長 日程第10、第49号議案 東大和市文化財記録映画貸出要綱の一部を改正する要綱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小俣教育部長、お願いします。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第49号議案 東大和市文化財記録映画貸出要綱の一部を改正する要綱につきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、文化財記録映画の貸出しにおけるDVDの追加及び押印の見直しに伴う改正に伴いまして、東大和市文化財記録映画貸出要綱の一部を改正するものがあります。

それでは、議案資料をご覧ください。新旧対照表でご説明申し上げますので、横になっている新旧対照表の4分の1ページをご覧ください。

網がけしてあるところが今回改正を行う箇所でありまして、左側が現行の条文で現在の条文です。右側が改正案でございます。

初めに、東大和市文化財記録映画貸出要綱の第1条につきまして、DVDの貸出しを追加するということから、そこを「及び文化財記録DVD（以下「DVD」という。）」の文言を加筆し、第2条において文言を整理するものであります。

4分の2ページをご覧ください。

東大和市文化財記録映画貸出要綱第3条の2項、右側の一番上の網がけのところと、第5条、中ほどの網がけのところ、それらにつきまして「及びDVD」という文言を加筆するものであります。

続きまして、4分の3ページから4ページになりますが、別表（第2条関係）の表をご覧ください。

右側の改正後のほうに網がけがしてありますが、種類のところにDVD、数量のところに1、そして収録時間のところは各DVDの収録の分として24分をそれ

ぞれ加筆するものであります。

最後に、4分の4ページをご覧ください。

第1号様式(第5条関係)、その下、第2号様式(第5条関係)とありまして、それぞれ(略)とされていますが、この様式の中において課長、係長、係員の決裁欄として、判こを押す欄がありましたが、それを削除しております。こちらは略していますので資料はご覧いただけませんが、第1号様式は文化財記録映画フィルム貸出申請書、第2号様式は文化財記録ビデオテープ貸出申請書でありまして、そちらについて決裁欄を削除するというところでございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がございましたら、ご発言をお願いいたします。

確認ですけれども、DVDは記録映画1本あるということですか。

岩野生涯学習課長。

○岩野生涯学習課長 各種類ごとに1本DVDを用意させていただいているということになります。

○岡田教育長 分かりました。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

続けて、岩野生涯学習課長、お願いします。

○岩野生涯学習課長 今この表中にございます16ミリフィルムですとかVHSテープの用意はございますが、利用される側の団体、もしくは各家庭のほうにおいて再生メディアがないというところから、DVDを用意させていただいて、これを貸出しするということになります。16ミリフィルムとVHSは今デッキを持っていないところが多うございますので、現状あまり活用されていないというところでもあります。

以上でございます。

○岡田教育長 岩田委員、どうぞ。

○岩田委員 郷土博物館に行くと、再生をして見せてくださるというようなことはできますか。郷土博物館には16ミリフィルムを再生する機械があるということですか。それともフィルムだけあるのでしょうか。

○岡田教育長 小俣教育部長。

○小俣教育部長 あくまでもこちらは貸出しの要綱ですので、見たい方に対してお

貸しするというものです。現在16ミリで見るという方やご家庭はまずいらっしやらないでしょうし、VHSなどのビデオテープを再生できる機械も少なく、ほとんどDVDになっていますので、各ご家庭で見られるようにDVDを用意して、お貸しできるように対応していくということでございます。

以上でございます。

○岡田教育長 ほかにいかがですか。

内野委員、どうぞ。

○内野委員 今までDVDの媒体がなかったのが不思議に感じました。内容も子どもたちが見られる内容なら、これを機に子どもたちにも見ていただいて、歴史も学べますし、とてもよい教材になるのではないかと感じました。内容はどのような感じですか。子どもが見ても学べそうな感じのものですか。

○岡田教育長 岩野生涯学習課長。

○岩野生涯学習課長 内容的には、小学生がご覧になっても、充分理解できるものとなっております。是非、多くの方にご利用いただきたいと考えております。

○内野委員 私も借りてみたいと思います。ありがとうございます。

○岡田教育長 できるだけ学校教育でも活用できるようなそういう資料映像であると、よいと思います。

はい、どうぞ、小俣教育部長。

○小俣教育部長 今回の改正につきましては、既にDVDの貸出しは行っております。しかし、きちんと要綱が改正されていなかったもので、今回改正をするものでございます。DVDを作ったときに改正すべきでしたが、そこはきちんと直せていなかったというところでございます。遅くなって申し訳ございません。

以上でございます。

○岡田教育長 では、よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第49号議案 東大和市文化財記録映画貸出要綱の一部を改正する要綱について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第11 その他報告事項

○岡田教育長 日程第11、その他報告事項を行います。

報告事項（1）いじめの重大事態の疑いについては、内容の性質上、公開することにより適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあることから、会議を非公開としたいと思いますが、これに賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○岡田教育長 賛成者全員。よって、会議は非公開といたします。

さらに、本案の会議録及び会議資料につきましても非公開としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岡田教育長 ご異議なしと認め、そのように取扱いいたします。

ここで関係者以外の退場を求めます。

（一部執行部退場）

（この間非公開）

○岡田教育長 では、質疑を終了いたします。

ここで会議の非公開を解きます。退場者の入場を認めます。

（一部執行部入場）

○岡田教育長 報告事項（2）令和6年東大和市二十歳の成人式の開催について、本件の報告をお願いいたします。

岩野生涯学習課長。

○岩野生涯学習課長 年明け、令和6年1月8日、月曜日、成人の日に二十歳の成人式を執り行わせていただく予定でございます。

コロナ禍の制限が緩和されてございますので、今年度は1部制に戻します。午後1時から式典を開始し、式典終了後、実行委員会による催物を予定してございます。

教育委員の皆さまにおかれましては、出席に関するご案内を差し上げてござい

ます。

コロナ禍のときには2部制で、ソーシャルディスタンスを保つために委員の皆さまは壇上には上がりませんでした。今年度は1部制で、委員の皆さまも壇上に上がっていただきます。当日はよろしくお願ひ申し上げます。

以上でございます。

○岡田教育長 ご質疑よろしいですか。

私からよいでしょうか。登壇するに当たり、成人式は特段服装に気を使うことはなくて大丈夫ですか。そのあたりが心配になるところではあります。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 確認しますけれども、正装であったと思います。間違うといけませんので確認をいたします。

○岡田教育長 服装について、恐らく男性であれば黒のスーツに白いネクタイとか、女性でも詳しくはありませんが式典にふさわしい服装とか、皆さま着てこられるとは思いますが、例えば通常のスーツでも可であるのか、そうでなくというところなのか、そのあたりの確認をしていただけるとありがたいです。よろしくお願ひいたします。

ほかにはいかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

◎閉会の辞

○岡田教育長 では、以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもって令和5年第12回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでございました。

午後 3時41分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長

会 議 録 署 名 委 員